

日本ELVリサイクル機構 ニュースレター (ELV Newsletter)

《編集・発行責任者》日本ELVリサイクル機構 広報部会長 永田 則男

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2-2 一美ビル5F

Tel:03-3519-5181 Fax:03-3597-5171 メール: jaera-homepage@elv.or.jp URL: http://www.elv.or.jp/

目次

● 巻頭言 小宮山 敬仁氏		1
● リオ+20に解体業界が参加		1
● JAERA便り		2
九州ブロック会議		
商用車部会見学会		
東京自動車リサイクル協議会定期総会		
安全作業指導員制度		
経産省からのお知らせ		
● スクラップ市況 最新情報		3
● 編集後記		3

巻頭言

当社では社員に良かれと思ひ、数年前に、月の入庫台数が一定台数を超えると1台当たり100円を社員の給与に加算することになりました。目標台数を100台超えたら100台×100円＝10000円。ところが、最近の鉄相場の下落や、仕入価格の上昇等が影響して、当初の台数では充分な利益を出すことが出来なくなりました。そこで基準台数を20台分引き上げる旨を社員に話しました。すると、一部の社員からは「話は分かりませんが、テンションが下がりますね」。私としては、「えー、だからこそ入庫台数を増やそうとか、経費を見直そうとかいう前向きな発想になつて欲しいのだけだ...」私の経営者としての未熟さ故なのでしょうが、経営者や部門長の皆様は、社員のモチベーションを上げるために、どのような努力をしておられますか。皆様の取り組みや意見、ニュースレターの感想等を jaera-homepage@elv.or.jp までお寄せください。機構の広報部会、事務局一同全員が目を通し、今後の紙面作りに活かしていきます。

小宮山 敬仁 (広報部会、東京都)

リオ+20に解体業界が参加

前号でご紹介した、ブラジルで開催された国連会議「リオ+20」に参加した当機構メンバーよりの報告をご紹介します

2012年6月20日～23日にブラジルのリオデジャネイロで「国連持続可能な開発会議」(リオ+20)が開催されました。

1992年に同じリオで開催された「国連環境開発会議」(地球サミット)は、今日の地球環境保護や持続可能な開発の考え方に大きな影響を及ぼした会議で、その場では「環境と開発に関するリオ宣言」が採択され、また、それを具体化するための「アジェンダ21」が取りまとめられたほか、気候変動枠組条約、生物多様性条約などがその場で署名されました。2009年の第64回国連総会では、ブラジル政府の提案によって「地球サミット」のフォローアップを行うこととなり、地球サミットから20年を迎える本年に、リオ+20が同地でおこなわれることになったものです。

リオ+20本会議の主題は;

- ◆ 持続可能な開発に向けた政治的コミットメントを再確認。貧困撲滅は世界が直面する最大の挑戦
- ◆ 過去20年間の経済成長・多様化等により得られた機会をとらえる必要を認識。
- ◆ 国連総会における人間の安全保障の議論に留意
- ◆ GDPを補完する指標に関して、国連に対し、作業計画の立ち上げを要請

詳細については、以下日本外務省の関連頁を参照してください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/rio_p20/gaiyo.html

なお、今回のリオ+20では、サイドイベントとして、民間企業・団体等が参加する展示館(日本パビリオンを設置)やセミナーなどが開催されましたが、日本からは、全国自動車リサイクル事業者連盟(NPO法人:代表理事 近藤典彦氏 会宝産業(株))のメンバーが参加し、日本の自動車リサイクルシステムについて講演を行ったほか、JICA(国際協力機構)と共同で、DVDの放映や冊子の展示を行いました。連盟のメンバーとして参加したELV機構会員からの報告によると、展示スペースには会期中180名の人たちが訪れ熱心に見学したとのことでした。□



写真上・左
写真右
講演会の様子
展示会場

《日本ELV機構 九州ブロック会議報告》

●6月24日(日)、福岡県中小企業振興センターにて日本ELVリサイクル機構九州ブロック会議が開催され、主に次の議題が取り上げられた。

- ① 平成24年度日本ELVリサイクル機構総会報告
- ② 平成24年度九州ブロック活動計画(湯浅新ブロック長)
- ③ 各地域現状報告
- ④ その他

●活動計画の項目は、①未加入業者の加入促進・組合員の増強、②会員のレベルアップ・会員の活性化、③入庫車の促進、などが提示されました。

●現状報告では、各社とも仕入れ価格の高騰が続いており、厳しい状態となっているようです。

尚、この度の組織改正に伴い、辻 隆雄氏に代わり、湯浅 隆雄理事が新ブロック長に、伊地知 志郎が副ブロック長に就任しました。□ 報告:伊地知 志郎 (株)オートパーツ伊地知

※本記事は、7月発効のVol.37に合わせて投稿頂いていましたが、紙面の関係上本号掲載となりました。(編集子)

《ELV機構 商用車部会 メーカー工場見学会のご報告》

自工会・車体工業会のご協力により、商用車部会、JTP会員等が参加して工場見学を行った。内容以下の通り。

- ◆ 日時: 平成24年6月22日(金)
- ◆ 見学先: ①極東開発工業(株)横浜工場 神奈川県大和市
②三菱ふそうトラック・バス(株)本社川崎市
- ◆ 参加者 総勢26名(ELV機構、JTP、自工会、車工会)

～概要～

- ELV機構商用車部会は日本トラックリファインパーツ協会(JTP)と共同で、自工会、車体工業会との連携を深めるため解体作業現場の見学会や意見交換会を開催するなどの活動を行っている
- この度、両工業会のご配慮で製造工場の見学会を開催することとなり、極東開発工業(株)横浜工場ではダンプなどの仮装物の製缶工程から塗装、組み立て工程までの見学、更には、三菱ふそうトラック・バス(株)本社では、大型車から小型車までの製造ラインを見学することができた。
- 特記すべきは同一製造ラインで異なるトラックを製造していることで、事前に必要な部材をそろえてある製造ラインは、まるでプラモデルを組み立てているようであった。□

(見学に先立ち、事前説明を受ける一行
(極東工業(株)において))



《東京自動車リサイクル協議会定期総会》

7月8日(日)東京自動車リサイクル協議会 第5回定期総会が東京都調布市で開催された。内容は以下の通り

日時・場所:平成24年7月8日(日)16:30～
調布クレストンホテル

～概要～

- 司会者 有原氏(株)有原商店)による開会宣言
- 金子会長(三協自動車(株))の挨拶の後、定足数の確認。全68社中出席29社、委任状提出24社の合計53社が報告されて総会の成立が確認された。
- 議長に森脇副会長を選出、滞りなく議事が進行し、中村副会長(南安全自工)の挨拶で総会が終了した。
- 総会終了後、(株)日刊市況通信社 三上取締役東京支社長兼東京編集長より「素材市況の動向について」の講演を開催した。三上氏は最近の市況動向を説明し、「スクラップ・資源は成長する分野であり、今は厳しいが他の動きを観察しながら事業をやっていたきたい」と締めくくった。
- 17:30より懇親会が行われ、自再協より須藤業務部長、柴田管理部マネージャー、三淵業務部マネージャーの参加もあり19:30まで有意義なひと時を送った。□



《安全作業指導員制度について》

ELV機構が行う事業の一つに「安全指導員制度」があります。同制度は、自動車再資源化協力機構(自再協)とのコラボレーションで一昨年から実施しているもので、新たに自再協とエアバッグ類の車上作動契約を締結した解体業者に対して、JAERAインストラクターの内から選定された指導員が、各対象事業所を訪問して現場において安全な車上処理作業の指導を行うものです。現在、認定された安全指導員は、北海道ブロック(以下B) 3名、東北B 2名、関東B 4名、中部・北陸B 2名、近畿B 1名、中国・四国B 2名、九州B 2名の合計16名となっています。

平成23年度中に実施された安全指導は、全国で対象となった66事業所のうち55件をとっております。なお、未実施の11事業所は、先方の都合などで行われなかったもので、双方の都合が付き次第順次実施されることとなります。ELV機構と自再協では、去る6月24日、都内において、平成24年度車上処理新契約事業所安全指導員研修会を開催しました。(写真下)

全国から招集された安全指導員に対して自再協の担当者他から、約5時間にわたり、新年度の安全作業の重点ポイント、監査の方針等に関する講義を受けました。□

(事務局)



《経産省からのお知らせ》

去る7月25日、経産省では大飯原子力発電所4号機の再稼働に伴う節電目標の見直し(7月26日実施)に関する連絡を関係方面に行いました。

連絡文の本文をELV機構のホームページに掲載したのでご参照ください。□

<http://www.elv.or.jp/ss/11-30-377.html>

(事務局)

～8月第1週（6日）の鉄スクラップ動向～

日本スクラップの輸出価格がジリ高の動き

日本スクラップの輸出価格がジリ高の動きとなっている。米国内市況が上伸に転じ、米シッパーの売り腰が強くなっているためだ。足元の輸出商談は日本国内の需要が回復する9月以降の積み出し分となることから、日本商社・シッパー筋は新規契約価格の値上げを求めている。そして韓国ミルがこれに応じる姿勢を見せ、7月下旬までFOB・26,000～26,500円（H2）で横ばいだった韓国向けの輸出価格は現在、値上がり気配にある。

一方、米シッパーのNo.1ヘビーの輸出オファー価格は1トンあたりCFR405～410ドルで、まだ日本のH2に割安感がある。「積み出しが9月以降のため今の契約価格はまだ安い」（商社筋）との声もあり、日本側は引き続き輸出価格の値上げを海外ミルに求めている姿勢だ。

中国国内の鉄スクラップ相場は続落の展開 重型平均価格2,835元に

中国国内の鉄スクラップ相場は7月下旬にかけても値下がり基調が続いた。7月第4週（7月24日～30日）も前週に続いてスクラップ購入価格を値下げするメーカーが続出し、中国国内・重型の全国平均は、前週比112元安の2,835元となった。2,900元を下回るのは、2010年8月第2週（8月3～9日）以来およそ2年ぶり。

関東地区 旧盆中の操業対策で一部に引き合い強める動き

関東電炉の一部で、旧盆中の操業対策のため鉄スクラップの引き合いが強まっている。その背景には、8月は後半に夏

季炉休が集中するため、前半の生産水準が比較的高い一方、市中では鉄スクラップの発生が鈍っており、市中業者筋の手持ち在庫も低下しているという状況がある。関東地区のH2炉前実勢価格は25,000～26,000円中心、高値26,500～27,000円見当。現在のH2浜値は26,000円中心。

東

海地区 様子見続くも、電炉の半数が炉休明け

東海地区のH2炉前実勢価格は25,500～26,500円中心で、2カ月近く様子見のまま8月入りしている。地場電炉メーカーでは、7月第4週から夏季炉休に入っていた3社が8月3～4日までに炉休を終了し、今週明けまでには操業再開が出揃う。またこれに合わせ荷受けも再開する。8月第2～3週にかけては炉休を実施する予定のメーカーは見られないが、旧盆休み明けの17日からはトピー工業が月内の炉休を決めている。

関

西地区 鉄スクラップ相場はこう着状態、様子見続く

関西地区では需給双方ともに様子見の域を出ず、相場はこう着状態だ。大阪電炉の中には6月下旬に入って一部が安値修正に動いた後、7月中旬から裏値を提示して鉄スクラップの引き合いを強める向きもあったが、8月に入ってから各社とも様子見姿勢を続けている。同地区電炉のH2実勢値は26,500～27,500円（一部上値28,000円）。姫路地区のH2炉前実勢価格は26,000～26,500円見当と、依然として様子見が続いている。□

（※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、8月6日時点のもの）

鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移



8月6日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2	気配
関東	北関東	25,000 ～ 26,000	ジリ高
	南関東	25,000 ～ 26,000	ジリ高
名古屋		25,500 ～ 26,500	様子見
関西	大阪	26,500 ～ 27,500	様子見
	姫路	26,000 ～ 26,500	様子見



◇編集後記◇

◇本文にも掲載しましたが、ELV機構の取り組みの一つとして「安全指導員制度」がある。機構のインストラクターの中から選ばれた方々に指導員として登録していただいております。自再協の指示のもと、場所によっては一日仕事になりかねず、繁忙期にはかなりのご無理をお願いすることになる。しかしながら、新規契約者への指導を任せられたという事は、自再協や責任当事者の自動車メーカーからの信用があつて成り立つ業務である。指導員の皆さんのご健闘を祈る。（関連記事P2）

◇2週間に一つの割合で地球上から消えているものがある。なんと言語だという。現在、地球上では約7千の言語が話されているが、今世紀末までにはそれが半分になるといわれている。少数民族が自らの言語を捨て、英語など主要言語を話すようになる、あるいは、少数民族のものが消滅するの。ちなみに、世界の人々の約半数が10の支配的言語といわれ、主要言語を話しており、トランプが中国語、次いでスペイン語、英語、アラビア語、ヒンディー語とつづき、我が日本語はロシア語に次ぐ第9位で122百万人が使用している。

（編集子）

（JAERA便り続き）北からの素晴らしい便りが届きました。ELV機構会員で函館の(有)二協自動車では、一般ユーザーから入庫する廃車一台につき1000円の貯金をし、自治体などに環境対策費として寄付をする「緑色計画事業」に取り組んでいます。去る6月15日、同社吉岡専務（写真左）が工藤函館市長（写真右）を訪れ、1年間に集めた12万円の目録を手渡し、工藤函館市長から感謝状が贈られました。



各地からの嬉しい、素晴らしいお便りをお待ちしています。奮っての投稿をお願いします。□（事務局）